



三菱〈24時間換気機能付〉バス乾燥・暖房・換気システム

ブイ ビーゼットエルティ

V-142BZLT6タイプ [100V] (2部屋用)

V-143BZLT6タイプ [100V] (3部屋用)



据付説明書

販売事業者・据付事業者様用

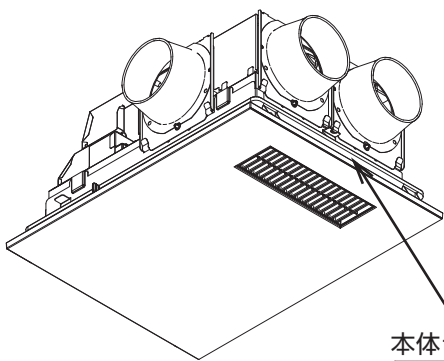
- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付が必要です。
据付の前に、この説明書を必ずお読みください。
- 本製品は消防法基準適合品です。
- 本製品は住宅用です。業務用途では使用できません。

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限（火災予防条例に基づく指導）がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。（本製品は（一社）日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております）

もくじ

1. 安全のために必ず守ること …………… 2
2. 使用部品と使用箇所 …………… 3～5
3. 据付場所の選定 …………… 6
4. 据付方法 …………… 7～16
5. 据付後の確認 …………… 16
6. 試運転 …………… 16～18
7. 不具合対処 …………… 19
8. お客様への説明 …………… 裏表紙

形名、製造番号記載位置





本体ラベル



1. 安全のために必ず守ること



誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。


本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 警告	 注意
誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの



 禁止	 水ぬれ禁止	 指示に従い必ず行う
 分解禁止	 アース線を必ず接続せよ	

警告

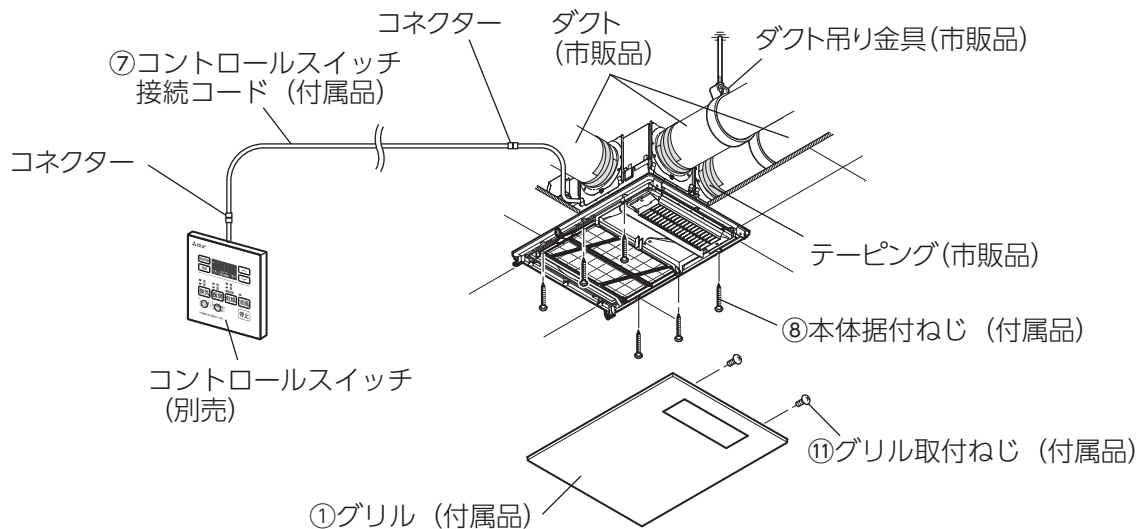
 禁止	内釜式風呂を据付けた浴室には据付けない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因
	スイッチを経由した電源接続は行わない スwitchの容量不足による感電・火災の原因
	コントロールスイッチ接続コードを高温になる部分に触れさせない 過熱による火災の原因
 水ぬれ禁止	製品を水につけたり、水をかけたりしない 充電部への水浸入により、感電やショートの原因
 分解禁止	改造や工具を必要とする分解はしない 内部部品との接触により、火災・感電・けがの原因
 アース線を必ず接続せよ	アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を設ける 故障や漏電のときに感電の原因

 指示に従い必ず行う	本体、グリルおよびパイプガイドはねじを使って確実に固定する 落下によるけがの原因
	交流100Vを使用する 交流100V以外を使用すると火災や感電の原因
	金属製ダクトがメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電氣的に接続しないように据付ける 接続されていると漏電した場合火災の原因
	電源電線の接続は確実にを行う 不確実な接続は接続部が過熱して発火の原因
	電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実にを行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因

注意

 禁止	浴室内にコントロールスイッチを設けない 充電部への水浸入により、火災・感電の原因
	コントロールスイッチ接続コードを鋭い角部に触れさせない 被覆のやぶれによる感電の原因
 指示に従い必ず行う	十分に強度のある所を選んで確実に据付ける 落下によるけがの原因
	部品の取付けは確実にを行う 落下によるけがの原因
	据付けの際は手袋を着用する 着用しないと、けがの原因
	据付けは、販売事業者様、または、専門の据付事業者様が実施する 間違った据付は事故の原因
	お客様ご自身での据付は事故の原因になります
	据付部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する 当社指定部品を使用しないと事故の原因
	トイレ（外部）スイッチ用電源ケーブルを本体の「電源用端子台」に誤接続しない トイレ（外部）スイッチが焼損する原因

2. 使用部品と使用箇所 (外形寸法図)



■付属品

	No	名称	V-142タイプ	V-143タイプ
	①	グリル	1個	1個
	②	据付枠	1個	1個
	③	排気ダクト接続口 (白いシャッター付)	1個	1個
	④	副吸込側ダクト接続口	1個	2個
	⑤	副吸込口グリル	1個	2個
	⑥	カバープレート	2個	1個
	⑦	コントロールスイッチ接続コード (5m)	1本	1本
	⑧	本体据付ねじ (4×40)	6本	6本
	⑨	皿ねじ (ダクト接続口、カバープレート固定用)	4本	4本
	⑩	φ3.5×32 木ねじ (副吸込口グリル取付用)	4本	8本
	⑪	グリル取付ねじ (4×12)	2本	2本
	⑫	取扱説明書	1冊	1冊
	⑬	据付説明書	1冊	1冊

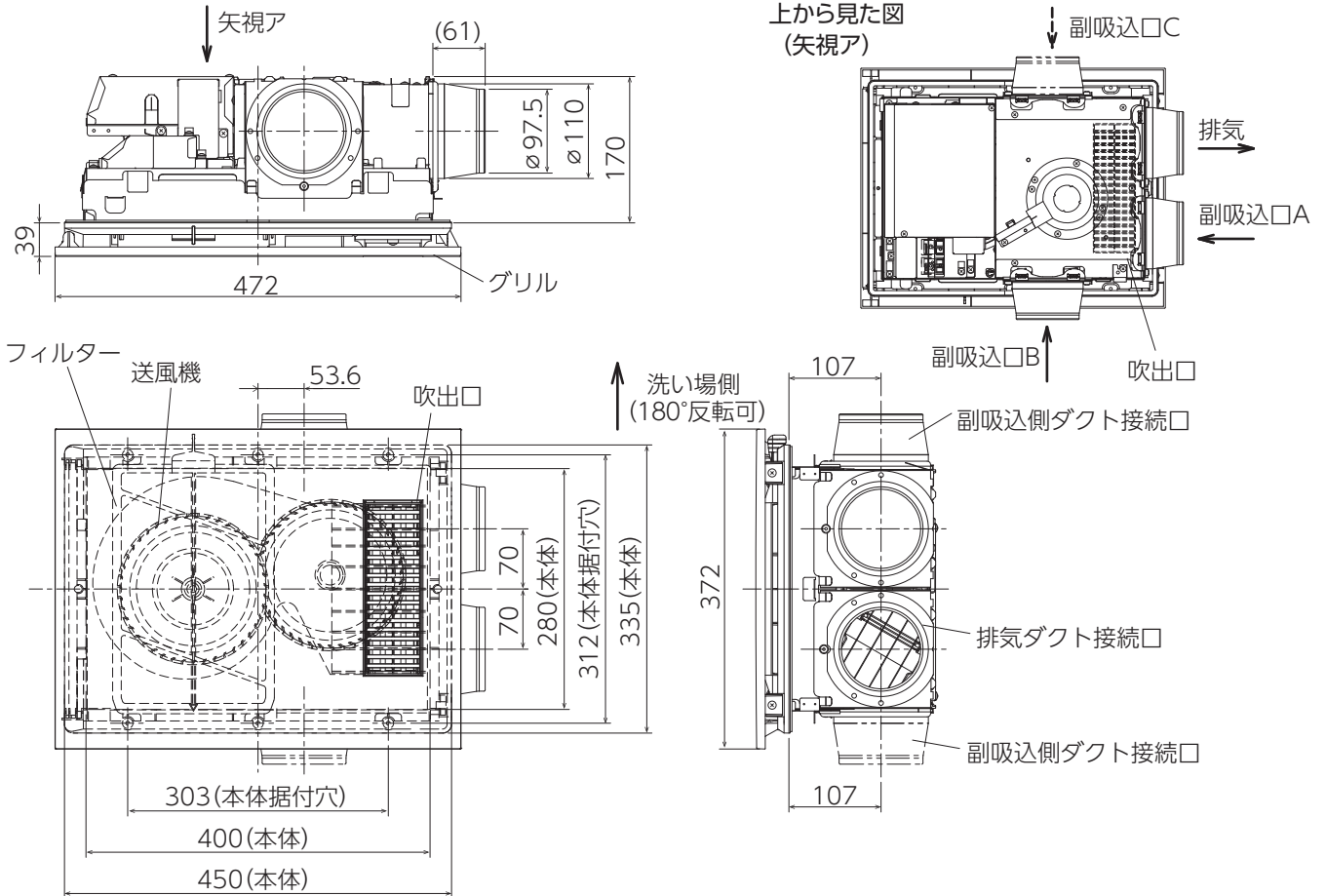
			※副吸込口グリルにテープ固定
			※グリルにテープ固定

2. 使用部品と使用箇所 (外形寸法図) つづき

■本 体 (図はV-143BZLT6タイプを示す)

- V-142タイプ：副吸込口はA、B、Cのいずれか1か所を選択
- V-143タイプ：副吸込口はA、B、Cのいずれか2か所を選択

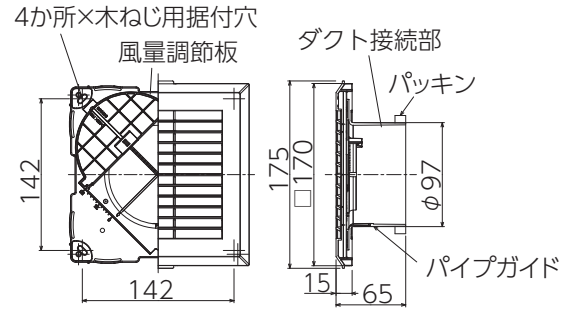
単位 (mm)



■天井開口寸法

- 本体据付け…… 410mm×285mm
- 点検口…… □450mm

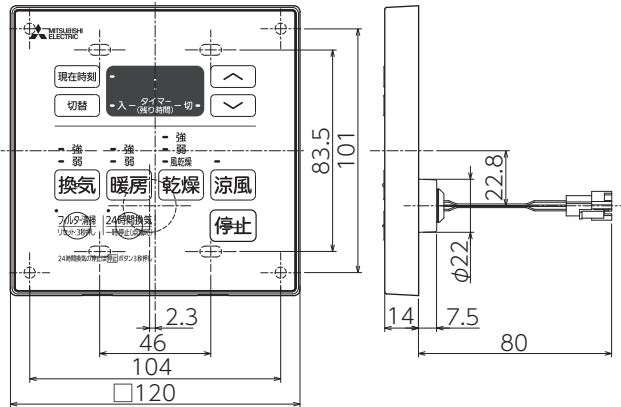
■副吸込ログリル (同梱品)



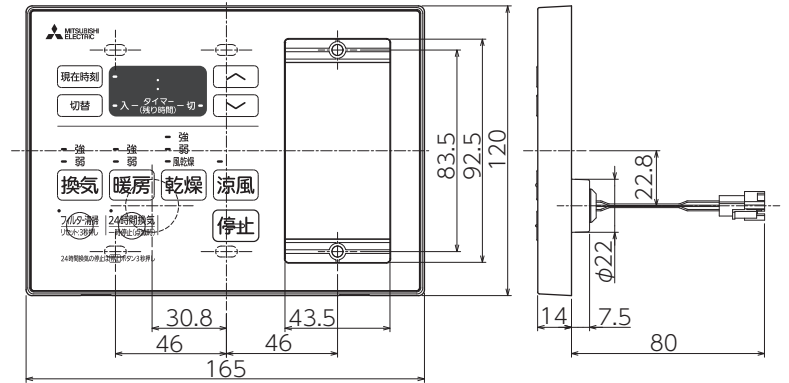
単位 (mm)

■コントロールスイッチ (別売)

P-143SW5 (標準タイプ)



P-143SW5-T (照明タイプ)



単位 (mm)

■P-143SW5-Tと照明スイッチ (別売) との組み合わせ

照明スイッチは下記のスイッチをご使用ください。

パナソニック製コスモシリーズワイド21

仕様	ハンドル形名	スイッチ形名	取付枠
1個用スイッチ ほたる付 (AC15A 100V)	WT3031W	WT50519(片切) WT50529(3路)	WT3700020
2個用スイッチ ほたる付 (AC15A 100V)	WT3032W		
3個用スイッチ ほたる付 (AC15A 100V)	WT3033W		

●照明スイッチをご使用にならない場合はblankチップ (WT6191Wパナソニック製) をご使用ください。

※形名は2023年12月現在のものです。メーカーによって形名を変更する場合がございます。

また、使用の可否は弊社確認によるものです。

4. 据付方法

据付手順

1 据付け前の準備

1. 配線をする。
2. 据付位置・排気方向・副吸込方向を決める。

2 据付枠、ダクト、本体の据付け

1. 据付枠とダクト接続口を取付ける。
2. ダクト工事を行う。
3. 本体を据付ける。
4. 本体を固定する。
5. 本体にグリルを取付ける。

3 副吸込口グリルの取付け

副吸込口グリルを取付ける。

4 電気工事

本体に結線する。

5 コントロールスイッチの据付け

コントロールスイッチを据付ける。

据付後の確認

試運転

1 据付け前の準備

お願い

- 天井ふところが狭く、電気工事が困難な場合、電気工事は製品を天井に据付ける前に行ってください。
- 本体据付後にダクト工事可能なスペースがない場合は、ダクト工事は本体を天井に据付ける前に行ってください。
- 点検口を設けないと本体をはずすことができなくなります。
- 製品は浴槽側の天井に据付けてください。

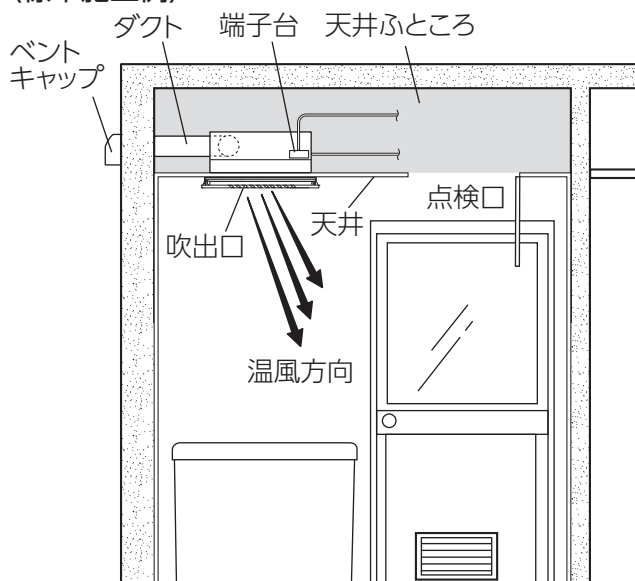
1. 配線をする。

- 3芯の電源ケーブル（VVFケーブルφ2mm）、アース線および付属のコントロールスイッチ接続コード（有効長約5m）を配線してください。
- 電気配線は断熱材の上側に通してください。
- 断熱材にスチロールを使用している場合、電源ケーブルとコントロールスイッチ接続コードに触れないようにしてください。
- コントロールスイッチ接続コードの長さがたりない場合には「延長用リモコンコード」（システム部材）をご使用ください。
- 本体据付位置より約2mの余裕をもって配線してください。本体のメンテナンスができなくなります。
- 電源ケーブルは専用の分岐ブレーカー（20A）より配線してください。
- 漏電しゃ断器を分電盤等の復帰可能な場所に取り付けてください。
- 本体の表面を断熱材で覆わないでください。また、本体と断熱材とは100mm以上離してください。

お願い

- コントロールスイッチ接続コードは照明用の電源コードや本製品の電源ケーブルと別配線し、10mm以上離して配線してください。（誤動作の原因になります）

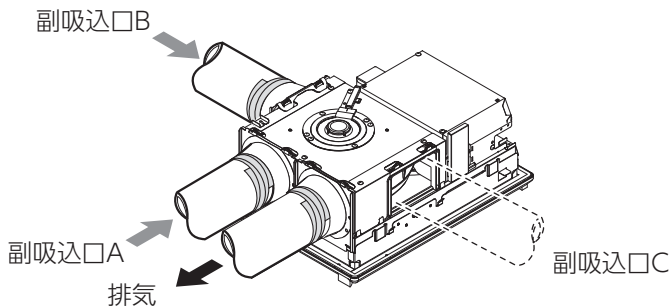
〈標準施工例〉



4. 据付方法 つづき

2. 据付位置・排気方向・副吸込方向を決める。

排気方向の確認

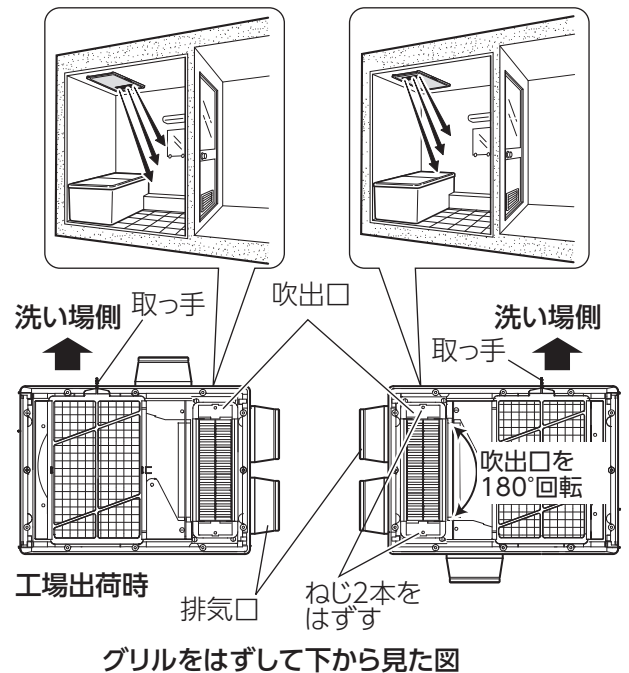


吹出口及びフィルター取付方向の変更

配管位置などの関係で、点検口から見て排気方向が左側になる場合は、温風が洗い場側に向くように本体の吹出口の取付方向を変更してください。

※温風が壁に向いていると、暖房・乾燥性能が悪くなります。

- 吹出口を本体からはずし、180°回転させて本体に取付ける。
- フィルターは取っ手が洗い場側になるように取付ける。



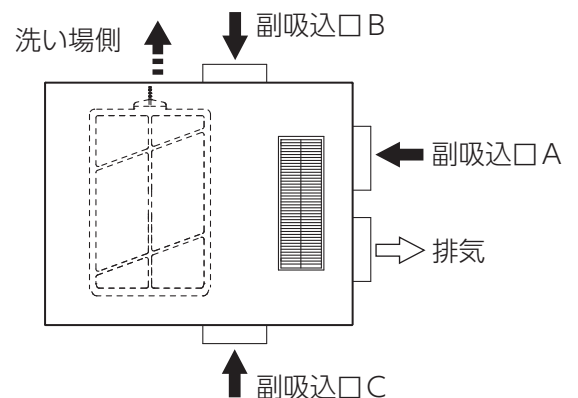
副吸込ダクトの接続口を選択する

副吸込側ダクト接続口は副吸込口 (A・B・C) の3方向より選択する。

- V-142タイプは1方向を選択します。
- V-143タイプは2方向を選択します。

お願い

- あらかじめ洗い場側、配管位置、排気方向を確認してください。



以下、V-142タイプは副吸込ダクトは1方向のみです。

排気ダクトの方向と副吸込ダクトの方向を確認し、据付方向を選択して据付枠を天井に据付けてください。

お願い

- 機種に応じた数の副吸込口を使用してください。機種に応じた数の副吸込口を使用しないと、換気ファンの回転が上がり、大きな騒音や換気モーターの故障の原因となる場合があります。

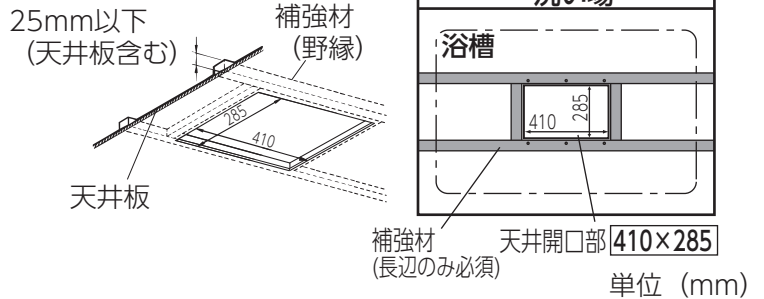
2 据付枠、ダクト、本体の据付け

※図はV-143タイプを示す。
(V-142タイプの場合は副吸込側ダクト接続口は1か所です)

1. 据付枠とダクト接続口を取付ける。 ※図はV-143BZLT6タイプを示す。

(1) 浴室の天井板に[410×285mm]の開口部を設ける。

- 内寸が右図の寸法となるように天井に補強材を設ける。
- 補強材は天井板を含めて **25mm以下** としてください。(据付枠が取付けられません)
- 補強材は天井にしっかりと固定してください。



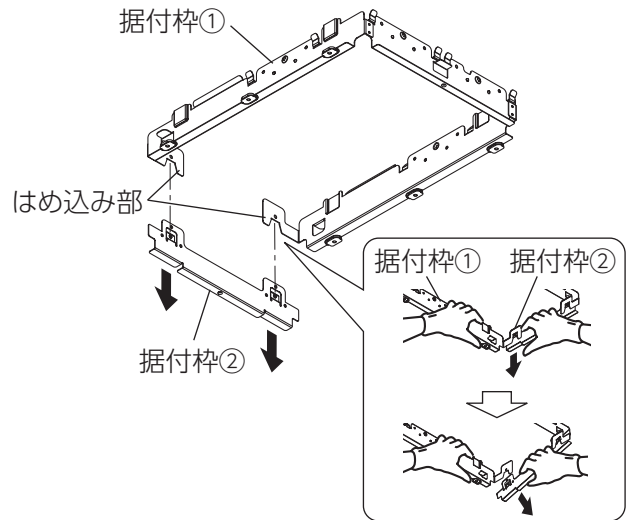
お願い

- このバス乾燥・暖房・換気システムの質量は約9kgです。本体の据付けは十分強度が得られるよう、補強材を使用して確実に行ってください。落下により、けがをするおそれがあります。

(2) ダクト接続方向を確認する。

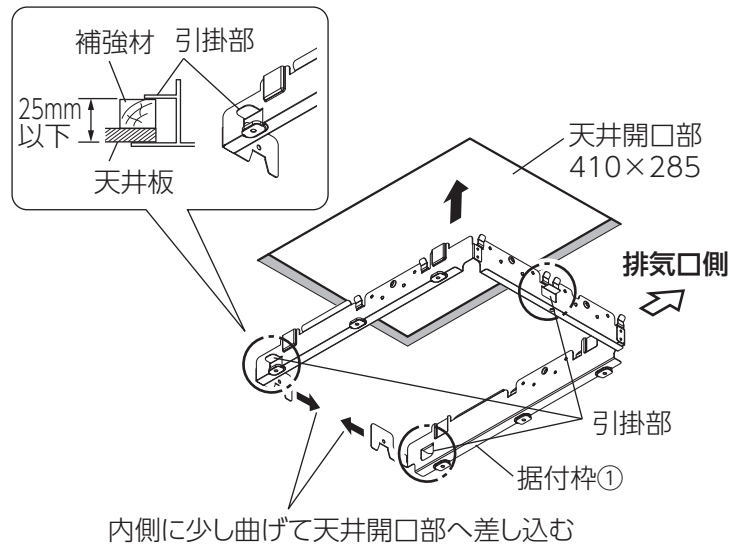
- 副吸込側ダクトは3方向から選択できます。配管の位置を確認してください。

(3) 据付枠②を据付枠①のはめ込み部2箇所から各々取りはずす。



(4) 据付枠①を浴室内から差し込み、据付枠①の引掛部3か所を天井板（補強材含む）に引っ掛けて仮固定する。

- 必要に応じて養生テープ等で天井板を保護してください。
- 据付枠①を差し込むときは、内側に少し曲げて天井開口部へ差し込んでください。



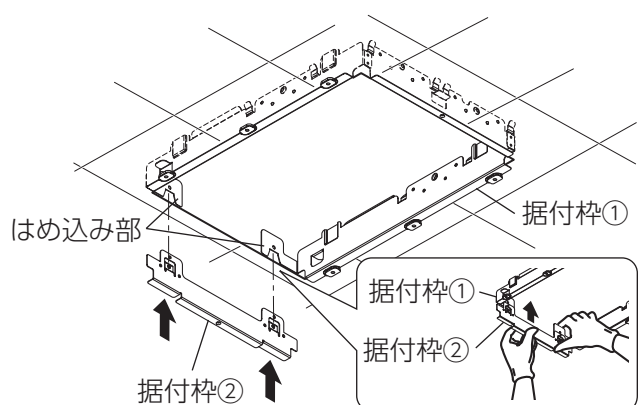
お願い

- 据付枠①を内側へ曲げる際は、曲げ過ぎにご注意ください。仮固定ができなくなります。
- 据付枠①のみを天井に仮固定した状態では落下の可能性があります。据付枠①から手を離さずに据付枠②を固定してください。

(5) 据付枠②を浴室内から差し込み、据付枠①のはめ込み部2か所に各々固定する。

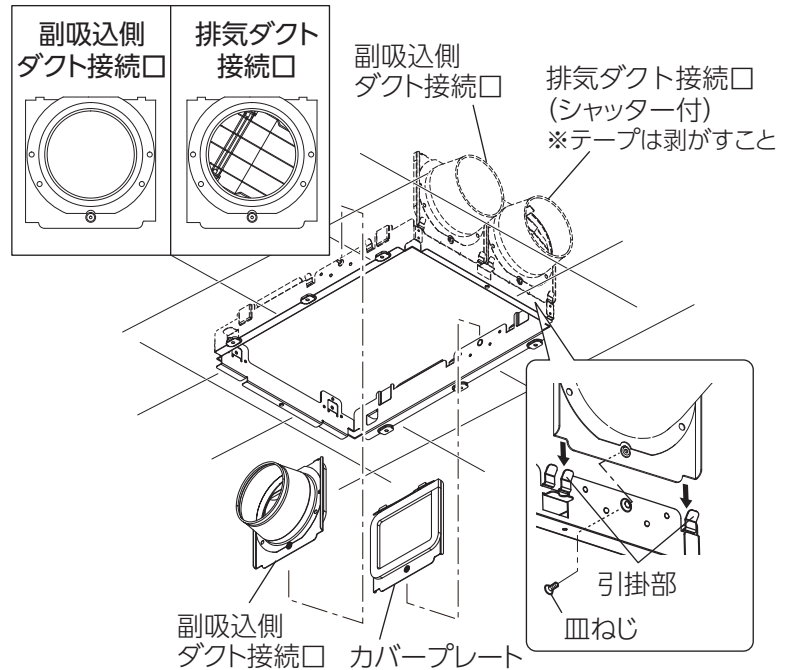
お願い

- 据付枠②が確実にはめ込まれていることを確認してください。



4. 据付方法 つづき

- (6) 排気ダクト接続口（白いシャッター付）を据付枠の引掛部に差し込み、付属の皿ねじ1本を用いて手締めで固定する。
- 排気ダクト接続口についているテープは取りはずしてください。
- (7) 副吸込側ダクト接続口を据付枠のあらかじめ選択した位置の引掛部に差し込み、付属の皿ねじ1本を用いて手締めで固定する。
- 副吸込側ダクト接続口の据付枠への取付位置は排気ダクト接続口と同じ面もしくは近傍の左右に固定してください。
- (8) 使用しない副吸込口に対応した部分にカバープレートを据付枠の引掛部に差し込み、付属の皿ねじ1本を用いて手締めで固定する。

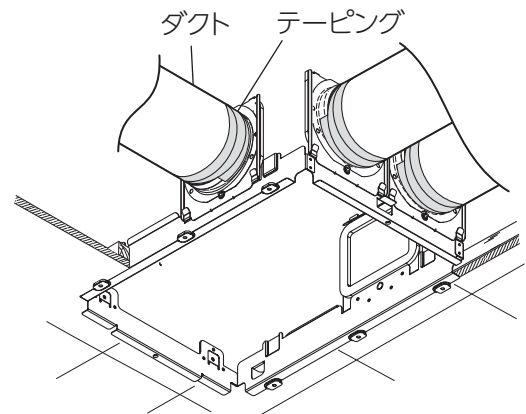


2. ダクト工事を行う。

ダクトをそれぞれのダクト接続口にしっかり差し込んで風漏れのないようテーピングする。

お願い

- ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊してください。
- ダクト接続口とダクトを接続する際に、ダクト接続口にねじ止めする場合は、シャッターの動きを妨げない位置へねじ止めしてください。

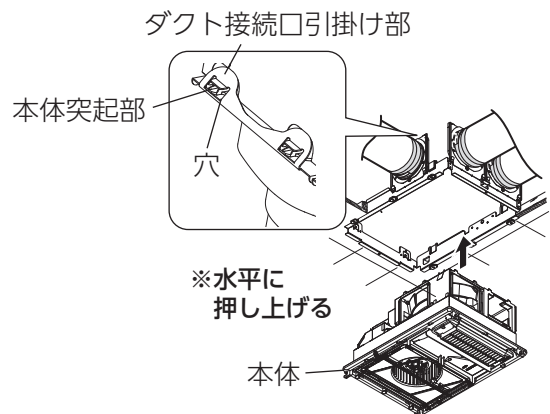


3. 本体を据付ける。

本体を開口部にそって差し込み、ダクト接続口引掛け部の穴に本体突起部がはまり込むように本体を奥まで差し込みます。

お願い

- 据付枠への本体挿入の際は、本体を天井面になるべく水平にして行ってください。
- ダクト接続口引掛け部の穴に本体突起部がはまっているか確認してください。（穴に突起部がはまっていないと接続が不十分となり、風漏れの原因になります）



4. 本体を固定する。

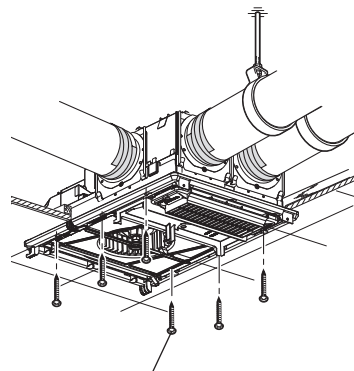
警告

! 本体およびグリルはねじを使って確実に固定する
落下によるけがの原因
指示に従い必ず行う

付属の本体据付ねじ4×40（6本）で本体をしっかり固定する。

お願い

- 排気ダクト接続口および副吸込側ダクト接続口が本体に密着していることを確認してください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。破損のおそれがあります。
- 本体を開口部に挿入後、本体から手を離さずにねじ固定を行ってください。本体には落下防止金具がついていますが、仮固定のためのものではありません。



本体据付ねじ(4×40)

5. 本体にグリルを取付ける。

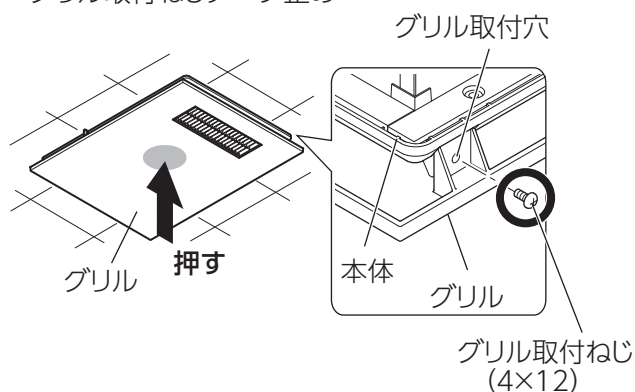
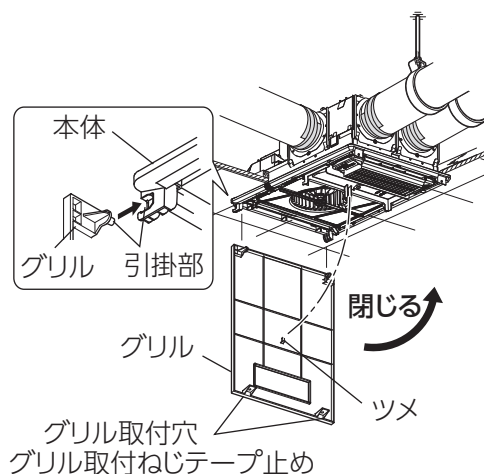
警告

! 本体およびグリルはねじを使って確実に固定する
落下によるけがの原因
指示に従い必ず行う

- (1) 本体引掛部にグリルの引掛部を合わせ、グリルを閉じて、グリルのツメが本体に引っ掛かるようグリル中央部を本体側へ押す。
- (2) グリルにテープ止めしてあるグリル取付ねじ（4×12）（2本）のテープをはがして本体とグリルを図のようねじ固定する。

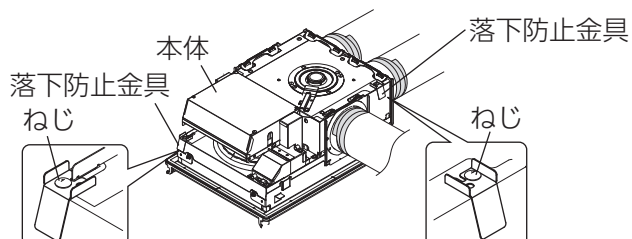
お願い

- グリルがしっかり固定されていることを確認してください。
- インパクトドライバーは使用せず、手締めでねじ固定してください。



本体を取りはずす場合

- 一度据付けたあとに本体を取りはずす場合は、落下防止金具（2か所）のねじ各1本をはずして落下防止金具をはずしてから本体を取りはずしてください。取りはずした落下防止金具（2か所）は本体を取りはずした後に必ず取付けてください。



4. 据付方法 つづき

3 副吸込口グリルの取付け

警告

! パイプガイドはねじを使って確実に固定する
落下によるけがの原因
指示に従い必ず行う

- ダクト（不燃材）を天井板の吸込口まで配管する。
●ダクトは天井板から出ないようにしてください。
- 天井板を張り、取付位置にφ100mmの開口部を開ける。
●ダクトを天井板に貫通させる場合は、ダクト径に合わせてください。
- 副吸込口グリルの両側の手掛け部を持ってパイプガイドをはずす。
- パイプガイドをダクトに差し込み、付属の木ねじ（φ3.5×32木ねじ 4本）で天井板に固定する。
●石こうボードに直取付けを行う場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用してください。

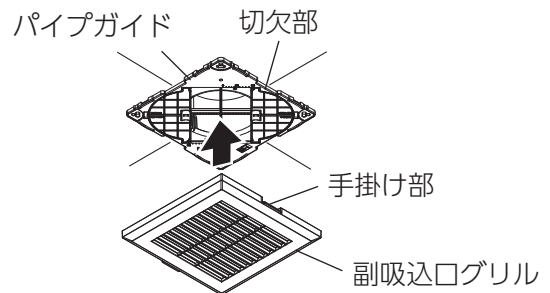
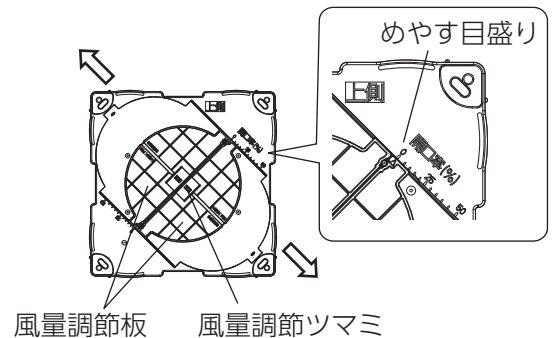
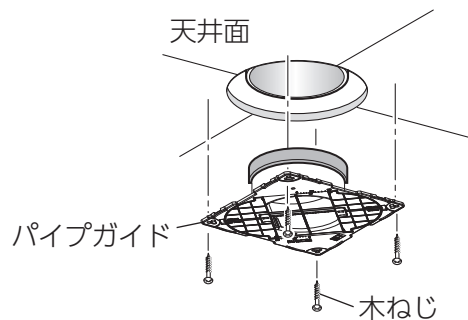
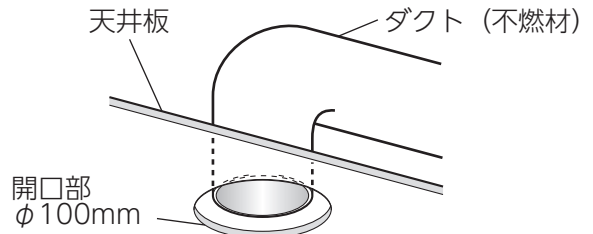
お願い

パイプガイドと天井板とのすき間防止のため、次のように取付けてください。

- 石こうボード用アンカーを使用する場合は、必ずパイプガイドのねじ穴からはずれないように確実に取付けてください。
 - パイプガイドは必ず天井板との間にすき間がないように確実に取付けてください。
- 必要に応じて風量調節板により開口面積を調整する。
（目盛りを目安に開口面積を決めます）
※通常は全開（100%）とします。

お願い

- 本体側の風量設定を確認して副吸込口グリルの風量を調整してください。
 - 風量調節板は全閉にはしないでください。
- 副吸込口グリルの手掛け部とパイプガイドの切欠部を合わせてはめ込む。



■本体と副吸込口との換気風量割合

形名	副吸込口 使用位置	風量比(%)							
		トイレ（外部）スイッチ切				トイレ（外部）スイッチ入			
		浴室	浴室以外			浴室	浴室以外		
		A	B	C		A	B	C	
V-142タイプ	A	約65	約35	—	—	約54	約46	—	—
	B	約53	—	約47	—	約42	—	約58	—
	C	約60	—	—	約40	約47	—	—	約53
V-143タイプ	A・B	約47	約22	約31	—	約37	約26	約37	—
	A・C	約47	約25	—	約28	約35	約29	—	約36
	B・C	約34	—	約38	約28	約29	—	約41	約30

※各室風量割合は配管状態により変化します。

4 電気工事

警告



指示に従い
必ず行う

交流100Vを使用する
交流100V以外を使用すると火災や感電の原因

電源電線の接続は確実に
不確実な接続は接続部が過熱して発火の原因

電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実
に行う
接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因

注意



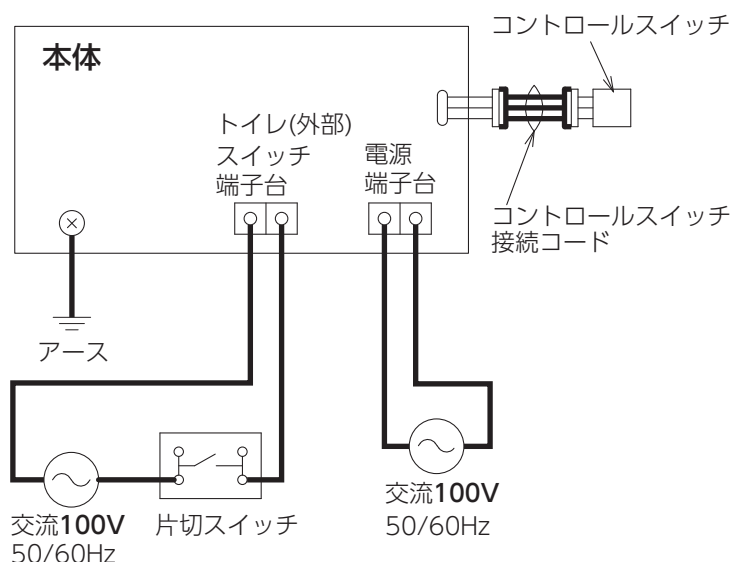
禁止

浴室内にコントロール
スイッチを設けない
充電部への水浸入によ
り、火災・感電の原因

お願い

- 天井ふところが狭く、電気工事が困難な場合、電気工事は製品を天井に据付ける前に行ってください。
- 電線の接続はジョイントボックス内にて行ってください。
- 単独ブレーカー(20A)とし、浴室乾燥機用とわかるように表示をしてください。

■結線図……太線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。コードは約2mの余裕をもって配線してください。



1. 端子台カバーを取りはずす。

ねじ1本をはずし、端子台カバーをはずす。

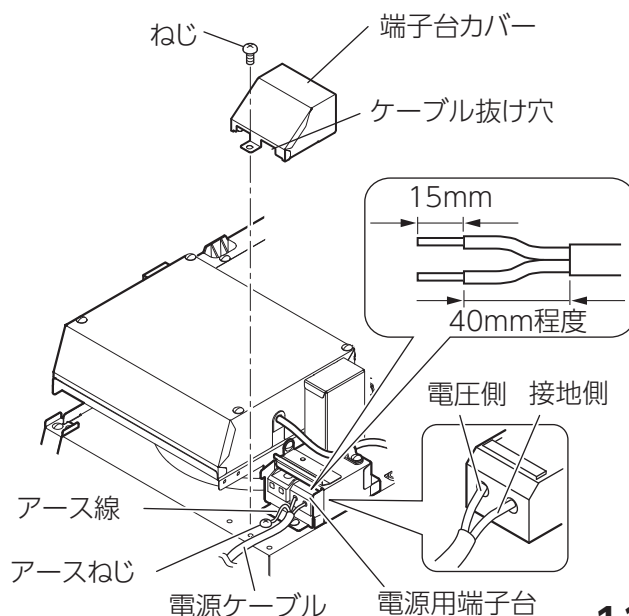
2. 「電源用端子台」へ接続する。

本体の「電源用端子台」に電源ケーブル(VVFケーブルφ2)の芯線が見えなくなるまでしっかりと差し込む。

- 電源ケーブルの電圧側と接地側を図のように差し込んでください。
- ケーブル先端の皮むき寸法は15mmです。
- ケーブル外皮は40mm程度むいておいてください。

3. アース工事を行う。

アース線を電源用端子台横のアース用ねじに固定して、必ずD種接地工事を行う。



4. 据付方法 つづき

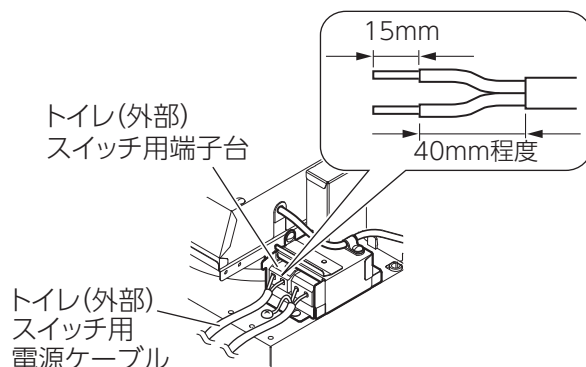
トイレ (外部) スイッチを使用する場合

4. 必要に応じて、トイレ (外部) スイッチの接続を行う。

本体の「トイレ (外部) スイッチ用端子台」に 100V の電源を接続用ケーブル (VVFケーブルφ1.6mmまたはφ2mm) の芯線が見えなくなるまで差し込む。

- リード線の皮むき寸法は 15mm です。
- ケーブル外皮は 40mm程度むいておいてください。

トイレ (外部) スイッチは、本体停止時や運転中にトイレなどから本体換気ファンを運転させたり換気の風量を大きくするためのスイッチです。



■トイレ(外部)スイッチは下記仕様のスイッチを使用してください。

⚠ 注意



指示に従い
必ず行う

トイレ (外部) スイッチ用電源ケーブルを本体の「電源用端子台」に誤接続しない
トイレ (外部) スイッチが焼損する原因

表示なしスイッチの場合

一般的な片切/3路スイッチ(単相交流100V~300V)が使用できます。

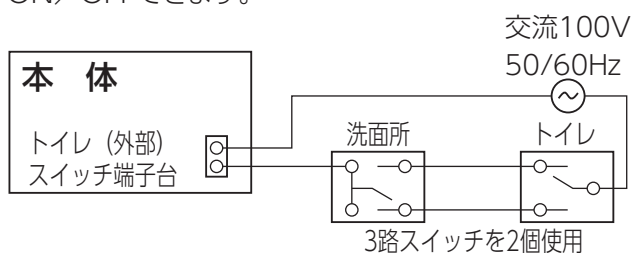
パイロットランプ付(オンピカタイプ)の場合

定格0.5A-100V~0.5A-300V(低負荷用)のスイッチを使用してください。

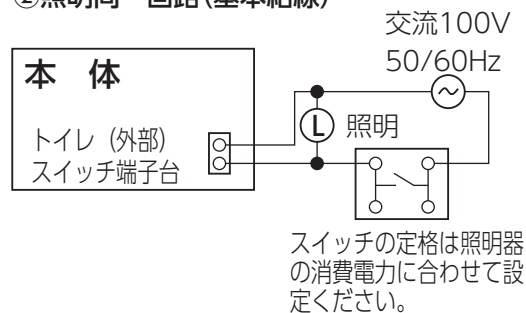
■外部結線例

①2か所ON/OFF(階段スイッチ)

※任意の方向にスイッチを倒すと外部スイッチをON/OFFできます。



②照明同一回路(基本結線)



お願い

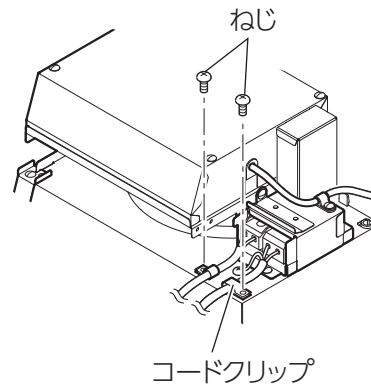
- 結線を間違えないでください。
(本体が動作しないか、本体基板が故障します)

5. ケーブルを固定する。

コードクリップで図のようにケーブルを固定する。

お願い

- 端子台に引っ張り力がかからないように固定してください。（接触不良となる場合があります）

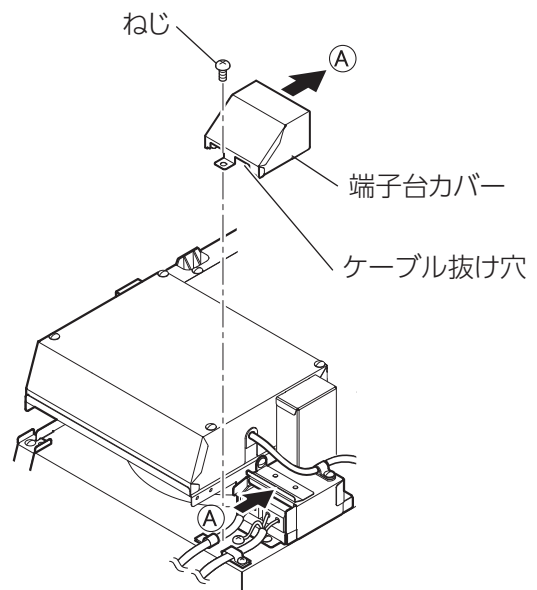


6. 端子台カバーを取付ける。

端子台カバーを元通り、矢印(A)方向に差し込み、本体にねじ1本でしっかり固定する。

お願い

- ケーブルは端子台カバーのケーブル抜け穴を通してください。
(あらかじめケーブルの形を整えておくと端子台カバーが固定しやすくなります)
- 端子台カバーでケーブルをはさまないようにしてください。
- 端子台カバーが確実に固定されているか確認してください。

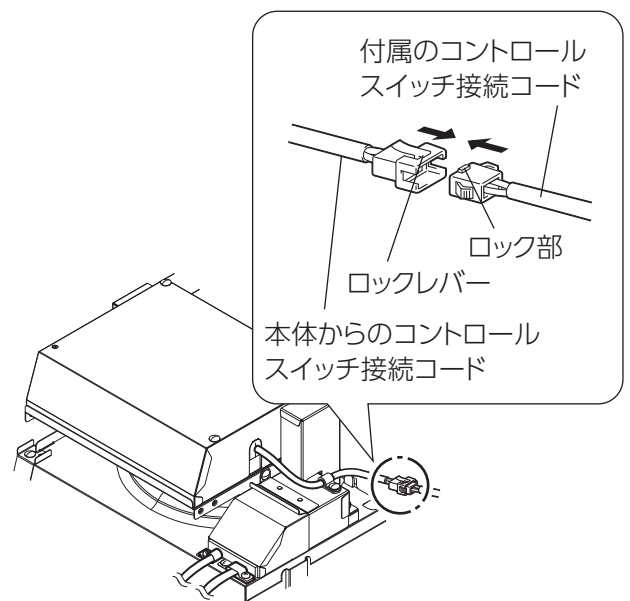


7. 本体とコントロールスイッチ接続コードを接続する。

付属のコントロールスイッチ接続コードを本体からのコントロールスイッチ接続コードと接続する。

お願い

- コネクタは本体からのコントロールスイッチ接続コードのコネクタのロックレバーと付属のコントロールスイッチ接続コード側のロック部の向きを合わせ、カチッというまで確実に接続してください。



4. 据付方法 つづき

5 コントロールスイッチ（別売）の据付け

■据付け前の準備

必ず機種専用のコントロールスイッチP-143SW5 (-T) をお使いください。

それ以外のコントロールスイッチを使用すると正常に動作しません。

据付方法はコントロールスイッチ（別売）に同梱されている据付説明書をご覧ください。

●準備するねじ

スイッチボックスに据付ける場合：M4×20皿ねじ（標準タイプ：4本、照明タイプ：6本）

※ねじの長さはスイッチボックスの位置に合う長さのねじを使用してください。

壁に直接据付ける場合：φ3×20木ねじ（4本）（標準タイプのみ）

※ねじの長さは一般的な例です。壁の厚さに応じて選定してください。

●コントロールスイッチ接続コード（本体同梱部品、約5m）を準備してください。

●コントロールスイッチ接続コードの長さが足りない場合は「延長用リモコンコード」（システム部材）をご使用ください。

●本体側に約2m余裕をもって配線してください。

●コントロールスイッチは、本体の運転確認がしやすい場所に据付けてください。

お願い

- コントロールスイッチ接続コードは、照明用、他の電源コードと別配線とし、10mm以上離してください。

誤動作の原因 になります。

- コントロールスイッチ接続コードは15m以内にしてください。誤動作の原因 になります。

- 結露しやすい壁には据付けないでください。壁をつたった結露水が内部に浸入するおそれがあります。

5. 据付後の確認

据付が完了しましたら、裏表紙の表に従ってもう一度点検してください。

不具合がありましたら必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。）

6. 試運転

試運転前に… 試運転の前にもう一度電源線の接続を十分確認のうえ、分電盤のブレーカー（交流100V）を入れて試運転を行ってください。上記以外の電圧を印加すると運転できません。

あらかじめ「トイレ（外部）スイッチ」は「切」の状態にしておいてください。

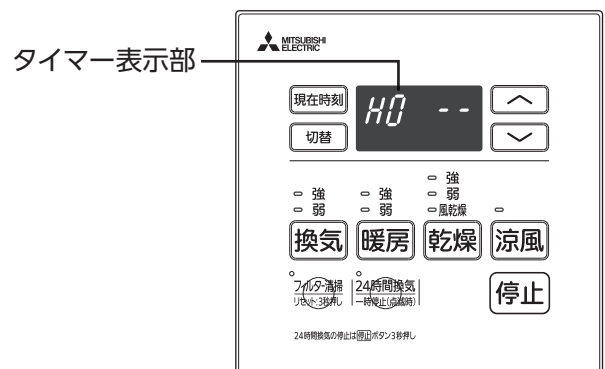
お客様立ち会いで試運転を行ってください。

お客様が不在の場合は、発注者（オーナーなど）または、管理人様立ち会いで行ってください。

1 電源を入れる（ブレーカーを入れる）

据付け後初めて電源を入れると、右図のようにタイマー表示部の **HO --** が約15秒間点滅します。

※点滅中はどのボタンを押しても動作しません。



6. 試運転 つづき

3 風量調整運転

24時間換気ボタンを押した後、本機が自動的に約5分間換気ファンの風量調整運転を行う

ダクト配管などの圧損状態を確認するため、約5分間（弱運転→強運転）換気ファンの風量調整運転を行います。この間他の運転に切り換えられずと風量調整が正しく行われず、あるいは調整時間が長くなる場合があります。
 ※ブレーカーを落とされた後（あるいは停電復帰後）、最初の運転時につきましても約5分間換気ファンの風量調整運転を行います。

※風量調整運転中に他の運転に切り換えてしまった場合、下記操作を行って換気ファンの風量調整運転を行ってください。




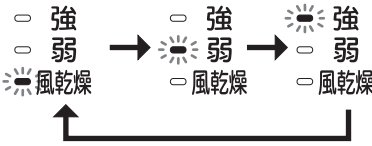

- 1) 一旦ブレーカーをOFFにした後、再度ONする。
- 2) 運転初期状態となった後（表示部の **HD --** が消えた後）24時間換気ボタンを押す、風量調整運転を実施。ダクト配管などの圧損状態を確認するため、約5分間（弱運転→強運転）換気ファンの風量調整運転を行います。

4 運転の確認

運転開始時や運転機能の切り換えに最大約40秒かかる場合があります。
 風路切り換え動作または本体冷却を行うため異常ではありません。

取扱説明書に従い「24時間換気」「換気」「暖房」「乾燥」「涼風」が正常に運転するか確認する
 本体の据付けが確実で振動・異常音がないか確認する。

※確認後、問題が無ければチェックボックスにチェックマーク☑を記入してください。

	操作	コントロールスイッチ	☑	内容
24時間換気	24時間換気 一時停止(点滅時) ボタンを押す	 24時間換気 一時停止(点滅時) ランプが 点灯する	<input type="checkbox"/>	本体グリルの吸込口から換気していることを確認する。
換気	換気 ボタンを押す 繰り返し押しすと機能が切り換わります。	 強弱 ↔ 強弱	<input type="checkbox"/>	本体グリルの吸込口から換気していることを確認する。
暖房	暖房 ボタンを押す 繰り返し押しすと機能が切り換わります。	 強弱 ↔ 強弱	<input type="checkbox"/>	本体吹出口から温風が出ていることを確認する。
乾燥	乾燥 ボタンを押す 繰り返し押しすと機能が切り換わります。	 強弱 → 強弱 → 強弱 風乾燥 風乾燥 風乾燥	<input type="checkbox"/>	・「風乾燥」の場合 本体吹出口から風が出ていることを確認する。
			<input type="checkbox"/>	・「強」、「弱」の場合 本体吹出口から温風が出ていることを確認する。 (乾燥強運転と乾燥弱運転の風量は同じです)
涼風	涼風 ボタンを押す		<input type="checkbox"/>	本体吹出口から風が出ていることを確認する。

※はじめて換気・暖房・乾燥・涼風運転を行うと、引き続き自動的に24時間換気運転を開始します。24時間換気運転を確認後、停止ボタンを3秒以上押し、24時間換気運転を停止してください。

※換気ファンは、常に一定の風量で換気するために換気ファンの回転数を自動制御しています。

※「風乾燥」運転では、運転開始から10～20分後運転を一旦停止しますが、異常ではありません。停止中に風路切り換えを行い、吹き出し風量を下げ換気を主とした運転に切り換えます。

5 トイレ（外部）スイッチ操作確認

トイレ（外部）スイッチを押したときの動作を確認する

全停止中にトイレ（外部）スイッチを入れ、副吸込口グリルから換気していることを確認する。

7. 不具合対処

次のような症状があり、点検の必要があれば必ず分電盤のブレーカーを切ってから点検してください。

※ブレーカーを入れ直す処置をする場合は、ブレーカーを切った後、5秒以上待ってから、ブレーカーを入れ直してください。

症状	原因	処置
運転しない	本体に通電されていますか？	ブレーカー点検をしてください 単独で 20A の容量が必要です
	運転開始時や運転機能の切り換えに約 40 秒間かかる場合があります	故障ではありません
	コントロールスイッチ接続コードが接続されていますか？	接続状態を確認してください
運転途中で停止する	「風乾燥」運転動作切り換えによる一時的停止ではありませんか？	1 分以内に運転再開する場合は故障ではありません。 再開後は吹出風は弱くなり、換気を主とした運転を行います
停止しない	ヒーター停止後約 15 秒間は冷却運転します	故障ではありません
運転開始時や運転機能切り換えに時間がかかる	風路切り換え動作または本体冷却のために約 40 秒間かかる場合があります	故障ではありません
振動がする	グリルが確実に取付けられていますか？	確実に取付けてください
	取付ねじがゆるんでいませんか？	確実に締め付けてください
温風が出ない ヒーターが途中で切れる (冷たい風が出ている)	浴室内の温度が約 40℃を超える場合はヒーターに通電されません	故障ではありません
本体と天井面との間にすき間があいている	据付ねじが緩んでいませんか？	据付ねじを締め付けてください
運転機能を切り換えたときにカチと音がする	リレー接点の切り換わり音です	故障ではありません
乾燥強運転、弱運転が切り替わらない	乾燥強運転、弱運転の風量変化はありません	故障ではありません
運転機能を切り換えたときにきしみ音がする	運転機能切り換え時の動作音です	故障ではありません
グリルがはずれかけている	グリルの取付ねじに不具合がありませんか？	取付ねじがはずれかけていないか確認し、確実に取付けてください
換気運転時の音が大きい	配管に S 字曲げ箇所等があるもしくは、屋外フードの圧力損失が大きい	ダクト配管の抵抗が大きい場合があります。お買い上げの販売事業者、据付業者にご連絡ください
	換気風量が多過ぎではありませんか？	風量設定を変更してください P.17
	電源に定格電圧以外が接続されています	電源電圧を確認してください
 	本体とコントロールスイッチの通信異常です	一度ブレーカーを入れ直してください
 	本体とコントロールスイッチの通信異常です	一度ブレーカーを入れ直してください ブレーカーを入れ直しても直らない場合はコントロールスイッチ接続コードの接合部を確認してください

8.お客様への説明

- お客様が不在の場合は、発注者様（オーナー様など）または、管理人様へ説明してください。
- 別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。
とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。
- この据付説明書は、据付け後にお客様にお渡しください。
なお、同梱の取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。

■据付後の確認表

内容を再度ご確認ください、問題がなければチェックボックスにチェックマーク☑を記入してください。

	確認項目	☑
製品据付	本体の据付けは緩みなどなく、確実に据付けられていますか？ P. 10, 11	<input type="checkbox"/>
	製品の吸込口、吹出口は塞がれていませんか？ P. 6	<input type="checkbox"/>
	グリルはねじで固定されていますか？ P. 11	<input type="checkbox"/>
	グリル中央部に浮きはありますか？（グリル中央部を押してツメに固定する） P. 11	<input type="checkbox"/>
電気工事	電源に漏電ブレーカーは設置されていますか？ P. 7, 13	<input type="checkbox"/>
	電源電圧は交流 100V ですか？ P. 13	<input type="checkbox"/>
	電源ケーブルは結線図通り結線されていますか？ P. 13	<input type="checkbox"/>
	電源ケーブルと端子台はゆるみなく接続されていますか？ P. 13	<input type="checkbox"/>
	電源ケーブル先端の皮むき寸法は15mmとし、電源用端子台に芯線が見えなくなるまでしっかりと差し込まれていますか？ P. 13	<input type="checkbox"/>
	電源ケーブルはコードクリップで固定しましたか？ P. 15	<input type="checkbox"/>
	アース工事（D種接地工事）は行っていますか？ P. 13	<input type="checkbox"/>
コントロールスイッチ接続	壁スイッチを経由した電源接続を行っていませんか？（トイレ（外部）スイッチを除く） P. 14	<input type="checkbox"/>
	コントロールスイッチ接続コードは正しく接続されていますか？ P. 15	<input type="checkbox"/>
その他	コントロールスイッチ接続コードは電源線に束ねられていませんか？ P. 16	<input type="checkbox"/>
	吹出口、フィルターの向きは正しいですか？ P. 8	<input type="checkbox"/>
	ダクト配管は、急な曲げ、多数の曲げ、吐き出し口のすぐそばでの曲げ、しぼりなどはありませんか？ P. 6	<input type="checkbox"/>

三菱電機株式会社

ご相談窓口

平日 9:00～12:00 13:00～17:00（土・日・祝・弊社休日以外）

三菱電機 換気送風機技術相談センター……電話 0120-726-471（無料）〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。